

《在宅医療・介護連携推進事業 各取組項目について》

取組項目	令和4年度の実施内容	今後の課題	令和5年度の取組み計画（案）
(1) 地域の医療・介護資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> 市のホームページに掲載した医療機関、歯科診療所、薬局の情報掲載。 医療機関等以外の市介護サービス事業所等情報について（調査中）。 		<ul style="list-style-type: none"> 医療機関等以外の市介護サービス事業所など情報の掲載内容について今後も検討する。
(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進会議の開催。（第1回 8/5 第2回 3/17） ワーキンググループ会議の開催。（第1回 10/20 第2回 11/14 第3回 12/19） 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅介護には夜間の訪問介護が必要ではないか。どのくらい需要があるか。 市内の医療や介護の資源について、市民へのPRが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進会議の開催。 具体的な取組みについては、医療機関やサービス事業所職員をメンバーとするワーキンググループ会議で検討。
(3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の訪問介護の必要性について、第9期介護保険事業計画のアンケート調査に向けて、調査内容をワーキングチームにて検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の訪問介護についてニーズはあるが、対応しきれていない。その理由の分析が必要。 薬剤師による居宅療養管理指導の件数は増加していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 第9期介護保険事業計画におけるアンケート調査にて把握した内容をもとに、在宅介護に必要なサービス提供体制やニーズを把握、第9期計画策定時に分析する。 「令和5年度恵那市介護人材育成修学資金」の貸付者募集、「恵那市介護福祉士資格取得支援助成金」の交付事業による介護職マンパワー確保の取組み。
(4) 医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ連絡会にて、ACPに関する内容について研修会を開催。（11/16、12/21） ～ジブンゴトとして考える ACP ケアマネジャーの役割ってなんだろう～ 「入院時情報提供書」「退院・退所時情報記録書」を使用しやすいよう書式の改良等を実施中。 総合事業対象者の介護保険証発行時に「つながるカード」を配布。 	<ul style="list-style-type: none"> 「つながるカード」の周知対象者の拡大（介護保険新規申請者等への周知） 「つながるカード」の医療機関等での配布。 ケアマネ連絡会にて、ACPに関する研修を今後も継続して行う。 住民に対し「つながるカード」の周知が重要である。 実際に出前講座で記載したところ、記入箇所等について課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネ連絡会にて「つながるカード」の活用について周知を行う。 ケアマネ連絡会におけるACPに関する研修会の継続。 「入院時情報提供書」「退院・退所時情報記録書」についてモニタリングを継続。 つながるカードの周知や配布方法の検討、必要に応じて内容の修正等を検討。（ワーキンググループ会議にて）
(5) 在宅医療・介護に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携支援センターを地域包括支援センターに設置。 ① 在宅訪問歯科の相談業務を恵那歯科医師会に委託。 ② 在宅医療の相談窓口を地域包括支援センターに設置。 <p>相談件数 346件 R4.2月時点の実績</p>		<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携支援センターを地域包括支援センターに設置。 ① 在宅訪問歯科の相談窓口を恵那歯科医師会に委託。 ② 在宅医療の相談窓口を地域包括支援センターに設置。（コーディネーターを2名配置（兼務））

《在宅医療・介護連携推進事業 各取組項目について》

取組項目	令和4年度の実施内容	今後の課題	令和5年度の取組み計画（案）
<p>(6) 医療・介護関係者の研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師会に委託し、多職種連携研修会を開催。 研修会に向けて7/5,8/3 歯科医師会との検討会議開催、居宅・施設介護サービス事業所を対象としたアンケートを実施。 1/19「介護現場での口腔ケアについて」（ZOOMにて） 歯科医師、ケアマネ、介護職員等58名が参加。 	<p>（研修会のアンケートより）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科についての研修を受ける機会が少ない。 ・ 在宅での看取りや人生会議についての研修を希望。 ・ 事例検討を希望。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種連携研修会の開催。 ・ ケアマネ連絡会における取組との連携。
<p>(7) 地域住民への普及啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「つながるカード」の周知を目的とした出前講座開催 於：生きがい大学（2/16,2/24） 講師：上矢作病院栗田相談員 ～「自分らしく生きる」 準備、出来ていますか～ 43名が参加。 ・ 認知症初期集中支援事業啓発事業として、座談会を開催（12/23） ～身近に認知症の方がいたら 「まわりの人にできること」～ 地域の方、居宅介護支援事業所、市内介護サービス事業所等27名が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国や県と比較してもサービス提供事業所数は多い傾向であるが、ヘルパー等の人材不足が課題である。ヘルパーの専門性や役割、利用者にとっての効果等の認識が低い。どのように周知していくか。 ・ 若者を中心とし、介護職として働く事の意義を見出せるような周知が必要。介護の分野でキャリアアップして働いている方の例を周知できるとよい。 ・ ヘルパーの支援により、在宅生活が継続できている事例等を紹介できるとよい。 ・ 入院時と同様に、在宅療養においても生活を支える支援体制（介護、医療）がある事、独居でも在宅生活を続けられる支援体制がある事を周知できるとよい。 ・ 「人生会議」の更なる周知が必要。 ・ 特に独居、高齢世帯においてACPにおける意思決定が難しい場合が多い。 ・ 「人生会議」の必要性を発信し続ける事が大切。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度広報えな特集記事に、在宅医療と介護についての特集記事掲載内容について検討。 ・ 人生会議についてケアマネ等の専門職を対象とした研修会を開催し、市民への周知につなげていく。 ・ 講演会の開催。（認知症初期集中支援事業） ・ 生きがい大学等の場での「人生会議」に関する出前講座等の啓蒙活動の継続。

R5 広報えな 特集記事（案）

介護職の仕事 知っていますか？

目的

介護職従事者のなり手不足が課題である。世代を問わず介護職の仕事への関心を持っていただけるよう周知活動を行う。

- 1) 坂下高校：福祉課 恵那南高校：ライフサポート系列における学生紹介
福祉、介護の仕事を進路として考えている学生へのインタビュー。（将来像など）
- 2) 家族の介護経験の後に介護職に従事している方へのインタビュー掲載
実際に家族の介護を体験してから、介護職になった方のインタビュー。
介護の仕事の大切さについて伝える。
- 3) 子育て中世代であり介護職に従事している方へのインタビュー掲載
（子供が保育園、学校に行く時間帯等を活用して、ヘルパー等の仕事に従事している方へのインタビュー、やりがいについて等）
- 4) 介護職員の資格を取得するために
介護職員初任者研修についての紹介。
- 5) 市の支援制度の紹介
「令和 5 年度恵那市介護人材育成修学資金」貸付者募集
「恵那市介護福祉士取得支援助成金」交付事業の周知 （高齢福祉課）